

日野市教育委員会 殿

学 校 名 日野市立日野第三小学校
校 長 名 桐 井 裕 美

令和6年度教育課程について（届）

このことについて、日野市立学校の管理運営に関する規則に基づき、
特別支援学級（知的障害）の教育課程を下記のとおりお届けします。

記

1 教 育 目 標

(1) 学校の教育目標

- よく考える子ども（知識技能、思考力・判断力・表現力等を身に付け、意欲的に学ぶ子供「問題解決力」「学力向上」）
- ◎ 思いやりのある子ども（自己を律し、他と協調して、命を大切にすること「人間関係形成力」）
- 体をきたえる子ども（自らの健康増進・体力向上に努め、運動に親しむ子供「実践力」）
- 最後までやりぬく子ども（苦難や逆境を乗り越えて人生を自ら創造していく子供「実践力」）

(2) 特別支援学級の教育目標

- 自立に向けて必要な知識、技能、態度及び基本的生活習慣を養う。
- ◎ 人とのかかわり合いを深め、集団の中で楽しく協力して生活できる力を養う。
- 健康な心身の発達や、体力の増進を図る。
- 目標をもち、粘り強く努力する力を養う。

(3) 学校、学級の教育目標を達成するための基本方針

- ア 教育活動全体を通し、個々の児童の自立を目指して基本的生活習慣を養い、基礎的・基本的な学習内容を計画的・系統的に指導するとともに、児童が主体的に学ぼうとする態度を育てる。
- イ 教育活動全体を通し、児童が人との豊かな関わりの中で自分や他人を大切にする意識を育み、“いのち”や人権を尊重する精神や態度を育てる。
- ウ 体を動かすことの楽しさを味わわせ、体力の向上を図り、生涯にわたる健康づくりの基礎をつくる。
- エ 児童の実態を的確に把握して個に応じた目標を設定し、個別指導計画や「かしのきシート」（個別的教育支援計画）を作成・活用することで指導の充実を図り、児童自身が目標をもってやるべきことに取り組めるようにする。知識や技能を確実に定着させるとともに、学び合い、教え合いの中で児童一人一人が自己肯定感、達成感をもてるようにする。
- オ①児童と指導者との信頼関係をつくり、学級が児童にとって安心できる居場所となるようにする。
 - ②異年齢集団のよさを生かし、共感的で肯定的な人間関係をつくれるようにする。
 - ③生涯学習の視点から、校外学習や生活単元学習の時間に体験的な学習や社会性を伸長させる学習を行う。
 - ④ICT機器を積極的に活用し、自ら学び、考える力を育む。
 - ⑤学校行事、学級行事、児童会活動、教科及び日常の様々な場面で通常の学級との交流及び共同学習を実施し、集団への積極的な参加を図り、経験や視野を広げると同時に、お互いの良さや違いについて理解を深めながら、協働的な学びの場を意識的に取り入れ、有意義な交流となるように努める。
 - ⑥家庭や地域社会や近隣の中学校との連携を深め、家庭や地域においても、児童一人一人が意欲的な社会生活が送れるようにする。また、SDGs（持続可能な開発目標）カレンダーに基づき、地域人材を活用した「ふるさと学習」、「安全学習」に取り組み、地域のよさに気付けるようにする。
 - ⑦大坂上中学校特別支援学級と連携し、9年間を見通した授業改善を行うとともに、キャリア・パスポートの活用を考えていく。地域の保育園とスタートカリキュラムを基にした幼・保・小連携教育に取り組み、幼・保・小・中のつながりを重視し、学びの連続性を意識した教育活動を継続的に進める。

2 指導の重点

(1) 各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動、自立活動、各教科等を合わせた指導の重点

ア 各教科

- ・児童の実態や興味・関心に基づき、学習内容を焦点化、視覚化、共有化し、分かる喜びを体感できる授業を工夫するとともに、指導と評価の一体化を図る。
- ・個別指導計画に基づいた国語や算数の学習を通し、基礎的な学力の定着を図る。
- ・全体での学習、学習課題によるグループ学習、学年集団での学習、個に応じた指導を適切に取り入れた学習等、多様な学習形態を取り入れ、学び合える学習を工夫する。
- ・自分の思いや考えを書いたり、伝えたり、小集団で話し合ったりする学習を通して、思考力や表現力等を付ける。
- ・学習の中に自分で選んだり決めたりする場面を設定し、自己決定の力を付ける。
- ・音読・群読を取り入れ、言語力の育成を図る。
- ・体育では毎時間、柔軟体操、体幹運動、持久走を取り入れ、体力の向上につなげる。

イ 道徳科

- ・児童が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるよう、授業形態を工夫し、自分の考えを基に話し合ったり、書いたりできるように表現する力を養う。「自分も相手も大切にする」人権教育の視点を基に「生命の尊さ」、「親切・思いやりの心」等豊かな心を育む道徳教育を行う。また、自他を大切にすることはどういうことかを考え、道徳的判断力、心情、実践意欲の育成を図るとともに、人権感覚がもてるようにする。

ウ 外国語活動

- ・ALTを活用し、英語の歌やリズム遊びを通して楽しみながら英語の表現に親しめるようにする。
- ・外国語活動を通して、言語や文化について体験的な理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする基礎及び素地となる資質・能力を育てる。

エ 総合的な学習の時間

- ・探究的な学習の過程において、協働して課題を解決しようとする学習やまとめたり表現したりする学習においてICTを活用し、「表現力」、「生活に生かす力」の育成を図る。
- ・和太鼓等の体験を通して日本の伝統・文化理解教育を行う。
- ・SDGsカレンダーを基に、自然体験や社会体験、様々な交流活動など、体験的学習を積極的に取り入れる。

オ 特別活動

- ・係活動や当番活動、班活動などの体験活動を通し、所属感や自己肯定感がもてるようにする。
- ・学校行事、学級活動、交流及び共同学習、クラブ活動、委員会活動、異年齢なかよし班活動、その他の活動を通し、集団の中での人との関わりの楽しさを味わわせ、集団の一員であることを感じられるようにする。

カ 自立活動

- ・健康の保持や心理的な安定に関わる学習及び、コミュニケーション能力や全身の協応性、手指の巧緻性を高める活動を行い、自立を見据えて、個々の障害による学習上又は生活上の困難を克服できるようにする。自立活動の指導は、各教科や道徳科、特別活動、総合的な学習の時間など、教育活動全般を通じて行う。

キ 各教科等を合わせた指導

- ・総合的な学習の時間・生活単元学習を中心に年間を通して和太鼓の学習に取り組み、日本の伝統・文化に触れさせる。
- ・生活単元学習では、校外歩行等の活動を通し、安全に歩行できるようにするとともに、公共のルールやマナーを守り、安全に気を付けて生活しようとする態度を身に付けさせる。
- ・生活単元学習では、調理等の作業を通し、日常生活に必要な技能や態度を身に付けさせる。

(2) 生活指導の重点

- ・基本的な生活習慣の育成を図り、家庭と連携を深めながら生活面での自立を図る。
- ・少人数の異年齢集団での活動を通して上級生は下級生の手本となり、下級生は上級生に憧れる関係をつくり、よりよい人間関係を築くために必要となる基礎的な力を養う。
- ・道徳科と特別活動、体育科、学校生活全体で、SOSの出し方に関する教育を実施し、生命（いのち）の安全教育としてプライベートゾーンへの理解や “いのち” や健康の大切さ、自他を尊重する気持ちを育てる。
- ・自尊感情、自己肯定感を高め「いじめ」を許さない学校として、児童理解や保護者との関係を密にし、早期発見、早期対応に努める。

- ・児童の様子に気を配り、小さな変化にも気付くことができるよう日頃から児童理解に努め、ひばり学級の担任はもとより関係機関との連絡を密に行い、不登校の未然防止、早期対応、長期化への対応を図る。
- ・日常生活の中で、自分で選んだり決めたりすることを大切に、自己決定の力を付ける。
- ・「安全教育プログラム」を活用し、生活安全・交通安全・災害安全の安全教育や安全指導を意識的に行い、自ら危険を回避することができるよう指導していく。
- ・あらゆる場面を想定した避難訓練、「防災ノート～災害と安全～」、「東京マイ・タイムライン」を活用し、自ら災害から身を守る意識実践力を高めるようにする。

(3) 進路指導の重点

- ・保育園・幼稚園等との連携を基に、スタートカリキュラムを策定し、スモールステップで学習内容に取り組み、安心して学校生活をスタートできるようにする。
- ・社会の一員として自立できるよう、必要な基本的な生活習慣を身に付けさせ、社会性を育てる。
- ・中学校の見学や体験入学を計画的に進め、中学校生活を具体的に知る機会とするとともに、将来への夢や希望がもてるような適切な進路指導を行う。
- ・保護者との共通理解の基で、児童一人一人の実態に応じた進路や、将来の方向性を考える。

3 教育目標達成のための特色ある教育活動・その他の配慮事項等

- ・「安心できる学校」プロジェクトを基に、児童・教職員が互いに支え合い、全ての児童が居心地のよい学校・学級環境の構築を図る。
- ・コミュニティ・スクールとして、地域とともにある学校教育の推進を図る。
- ・安全教育推進校として、自ら適切に判断し主体的に行動する児童の育成に対する成果を公開する。
- ・保護者・地域と連携した「防災デー」を実施し、地域コミュニティを基に防災意識の向上を図る。
- ・授業内容の焦点化、視覚化、共有化を図り、児童を主体とした授業改善を行う。
- ・通常の学級、ことばの教室「たんぼぼ」、特別支援教室、リソースルーム等との連携を図り、協働的な学びを推進し、質の高い教育を推進する。
- ・学校 2020 レガシーの取組を継続し、礼法や和太鼓の学習及び障害者理解教育の推進を図る。
- ・タグラグビー教室、空手道体験教室、ものづくり教室等地域人材を活用した教育活動を推進する。
- ・情報モラル教育を通して、一人1台学習者用端末等の適正な活用についての意識を高める。
- ・保育園・幼稚園等との連携を基に、スタートカリキュラムを策定し、安心して学ぶ環境や学習内容を整え、学校生活をスタートできるようにする。
- ・教育活動全体の中での具体的な場面での指導を通し、生命の尊さや思いやりの気持ちを育む。
- ・全校朝会でひばり学級について発表する機会をつくり、ひばり学級の表現力を高める場とするとともに、全校児童がお互いに認め合えるようにする。
- ・通常の学級の3年生と年間を通した交流活動を行う。お店屋さん活動等や和太鼓の発表活動の参加を通して、互いに理解を深められるようにする。また、行事等を通して同学年との交流活動を行う。
- ・児童の実態に応じて、通常の学級と交流給食等を行い、社会性の伸長を図る。
- ・栄養のバランスや規則正しい食生活の大切さについて学ばせ、味覚の幅を広げることで偏食を改善し、食に対する意識を高める。
- ・個別指導計画を基に言語聴覚士と連携した「楽しいことばの時間」を行い、コミュニケーション能力を高め、社会適応能力の獲得を図るとともに、対人関係の改善や情緒の安定を図る。
- ・教師間で指導前に児童の課題や心理的な状況及び指導の手だてを共通理解し、役割分担を明確にし、効果的な指導を行う。
- ・他の特別支援学級や特別支援学校との合同行事等に参加し、児童・生徒間、及び教師間の交流を図る。
- ・学級日より、連絡帳、学校公開日、保護者会等を活用し、家庭と緊密な連携を取り学校と家庭が一体となった教育環境をつくる。

様式2 (小学校)

学校名 小03 日野市立日野第三小学校 (特別支援学級)

4 授業日数及び授業時数の配当

(1) 年間授業日数配当表

| 月 学年 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
|---------|---|----|----|----|---|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 1 | 16 | 21 | 20 | 14 | 5 | 19 | 22 | 20 | 18 | 17 | 18 | 15 | 205 |
| 2 | 16 | 21 | 20 | 14 | 5 | 19 | 22 | 20 | 18 | 17 | 18 | 15 | 205 |
| 3 | 16 | 21 | 20 | 14 | 5 | 19 | 22 | 20 | 18 | 17 | 18 | 15 | 205 |
| 4 | 16 | 21 | 20 | 14 | 5 | 19 | 22 | 20 | 18 | 17 | 18 | 15 | 205 |
| 5 | 16 | 21 | 20 | 14 | 5 | 19 | 22 | 20 | 18 | 17 | 18 | 16 | 206 |
| 6 | 16 | 21 | 20 | 14 | 5 | 19 | 22 | 20 | 18 | 17 | 18 | 15 | 205 |
| 備考 | ・第5学年は、卒業式に出席するため、第1～4学年、第6学年より1日増。 ・振替休業日のない土曜日授業の日数は、0日。 | | | | | | | | | | | | |

(2) 各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動、自立活動、各教科等を合わせた指導の年間授業時数配当表

①各教科

| 教科名 | | 学年 | | | | | | |
|--------------------------|-------------------------|--------------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | |
| 各教科 | 国語 | | | | | | | |
| | 社会 | | | | | | | |
| | 算数 | | | | | | | |
| | 理科 | | | | | | | |
| | 生活 | | | | | | | |
| | 音楽 | | | | | | | |
| | 図画工作 | | | | | | | |
| | 家庭 | | | | | | | |
| | 体育 | | | | | | | |
| | 外国語 | | | | | | | |
| 知的障害者を行う特別支援学校の児童に対する各教科 | 内容 | | | | | | | |
| | 生活 | | | | | | | |
| | 国語 | 話す、聞く、文字の読み書き、物語文・説明文の理解、文章表現等 | 205 | 210 | 210 | 225 | 225 | 225 |
| | 算数 | 数の仕組み、計算、かさ、長さ、重さ、図形、時計の読み、お金等 | 135 | 140 | 155 | 175 | 175 | 175 |
| | 音楽 | 歌唱、鍵盤ハーモニカ、リコーダー、合奏、身体表現、リズム等 | 65 | 70 | 70 | 70 | 70 | 70 |
| | 図画工作 | 描画、工作、造形遊び、鑑賞等 | 70 | 70 | 70 | 70 | 70 | 70 |
| 体育 | 基本的な運動、道具を使った運動、水の中の運動等 | 105 | 105 | 105 | 105 | 105 | 105 | |
| 小計 | | 580 | 595 | 610 | 645 | 645 | 645 | |

様式 2 - 2（小学校）

② 道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動、自立活動

| 内容・学年 | 内 容 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
|-----------|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 道徳科 | 生命の尊さ、思いやり、人とのよいかかわり等 | 34 | 35 | 35 | 35 | 35 | 35 |
| 外国語活動 | 英語の歌、リズム遊び、ゲーム 挨拶、身近な単語、アルファベット等 | (5) | (5) | 10 | 10 | 15 | 15 |
| 総合的な学習の時間 | 和太鼓、交流及び共同学習、情報、 地域学習等 | | | 70 | 70 | 70 | 70 |
| 特別活動 | 係活動、話し合い活動、学級レクリエーション等 | 34 | 35 | 35 | 35 | 35 | 35 |
| 自立活動 | コミュニケーション能力の育成、ソーシャル スキルの育成、手指の巧緻性の向上等 (各教科等の中で実施する。) | | | | | | |
| 小 計 | | 68 | 70 | 150 | 150 | 155 | 155 |

③ 各教科等を合わせた指導

| 内容・学年 指導の形態 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
|----------------|--|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 日常生活の指導 | 食事、衣服の着脱、排泄、清潔等 (全教育活動の中で実施する。) | | | | | | |
| 遊びの指導 | | | | | | | |
| 生活単元学習 | 自然、社会、友達、歩行学習、調理学習、 季節学習、行事学習、いのちの学習等 | 202 | 245 | 220 | 220 | 215 | 215 |
| | | | | | | | |
| 小 計 | | 202 | 245 | 220 | 220 | 215 | 215 |

(3) 年間総授業時数

| 年間総授業時数 (① + ② + ③) | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
|------------------------|--|-----|-----|-----|------|------|------|
| | | 850 | 910 | 980 | 1015 | 1015 | 1015 |
| 備 考 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 単位時間 45 分。 ・ 第 1 学年はスタートカリキュラム年間 5 時間を余剰時間で 30 時間を教科等の時間に位置付けて実施する。 ・ クラブ活動（60 分）と委員会活動は、総授業時数外で実施する。クラブ活動は 60 分授業とし、12 回で 16 時間。 ・ 総合的な学習の時間の名称は、総合的な学習の時間とする。 ・ 第 1 学年、第 2 学年は年間 5 時間の外国語活動を余剰時間で実施する。 | | | | | | |

令和6年度 4 学 校 行 事

| 月 | 4月 | | 5月 | | 6月 | | 7月 | | 8月 | | 9月 | |
|----|----|-----------------------|----|-------------------|----|---------------------|----|------------------|----|--------|----|---------------------|
| 日 | 曜 | 行 事 | 曜 | 行 事 | 曜 | 行 事 | 曜 | 行 事 | 曜 | 行 事 | 曜 | 行 事 |
| 1 | 月 | | 水 | 避難訓練(引き渡し) | 土 | | 月 | 安全指導 | 木 | | 日 | |
| 2 | 火 | | 木 | | 日 | | 火 | | 金 | | 月 | |
| 3 | 水 | | 金 | 憲法記念日 | 月 | | 水 | 避難訓練 | 土 | | 火 | 社会科見学(5) |
| 4 | 木 | | 土 | みどりの日 | 火 | 安全指導 | 木 | | 日 | | 水 | |
| 5 | 金 | 春季休業日終 | 日 | こどもの日 | 水 | 定期健康診断終 | 金 | 社会科見学(4) | 月 | | 木 | |
| 6 | 土 | | 月 | 振替休日 | 木 | 振替休業日(6) | 土 | | 火 | | 金 | |
| 7 | 日 | | 火 | 安全指導 | 金 | 多摩特研交流会(ひ) | 日 | | 水 | | 土 | |
| 8 | 月 | 始業式 入学式 | 水 | | 土 | 日光移動教室始(6) | 月 | | 木 | | 日 | |
| 9 | 火 | 給食始(2~6) | 木 | | 日 | | 火 | | 金 | | 月 | 水泳指導始 |
| 10 | 水 | | 金 | | 月 | 開校記念日 日光移動教室終(6) | 水 | | 土 | | 火 | 避難訓練 |
| 11 | 木 | | 土 | | 火 | 振替休業日(6) | 木 | SOSの出し方に関する教育(5) | 日 | 山の日 | 水 | |
| 12 | 金 | | 日 | | 水 | | 金 | 演劇鑑賞教室 | 月 | 振替休日 | 木 | ひばり宿泊始 |
| 13 | 土 | | 月 | ハヶ岳移動教室始(5) | 木 | | 土 | | 火 | 閉庁日始 | 金 | ひばり宿泊終 |
| 14 | 日 | | 火 | ハヶ岳移動教室終(5) | 金 | 避難訓練 | 日 | | 水 | | 土 | |
| 15 | 月 | 給食始(1)安全指導 定期健康診断始 | 水 | | 土 | | 月 | 海の日 | 木 | | 日 | |
| 16 | 火 | | 木 | | 日 | | 火 | | 金 | 閉庁日終 | 月 | 敬老の日 |
| 17 | 水 | | 金 | 自転車安全教室(3) | 月 | | 水 | | 土 | | 火 | |
| 18 | 木 | | 土 | | 火 | | 木 | 給食終 | 日 | | 水 | |
| 19 | 金 | | 日 | | 水 | | 金 | 終業式 | 月 | | 木 | |
| 20 | 土 | | 月 | | 木 | 歩行学習 | 土 | | 火 | | 金 | |
| 21 | 日 | | 火 | | 金 | 社会科見学(3) | 日 | 夏季休業日始 | 水 | | 土 | 学校公開日 道徳授業地区公開講座 |
| 22 | 月 | 家庭訪問始 | 水 | | 土 | | 月 | 夏季学習会始 | 木 | | 日 | 秋分の日 |
| 23 | 火 | 家庭訪問終 | 木 | | 日 | | 火 | | 金 | | 月 | 振替休日 |
| 24 | 水 | 個人面談始 | 金 | 学校公開日始 セーフティ教室 | 月 | | 水 | | 土 | 夏季休業日終 | 火 | 振替休業日 |
| 25 | 木 | 避難訓練 | 土 | 学校公開日終 | 火 | | 木 | | 日 | | 水 | |
| 26 | 金 | 交通安全教室(1、2) 個人面談終 | 日 | | 水 | | 金 | 夏季学習会終 | 月 | 始業式 | 木 | |
| 27 | 土 | | 月 | 振替休業日 | 木 | | 土 | | 火 | 給食始 | 金 | |
| 28 | 日 | | 火 | | 金 | 社会科見学(6) | 日 | | 水 | | 土 | |
| 29 | 月 | 昭和の日 | 水 | 体力テスト始 | 土 | | 月 | | 木 | 安全指導 | 日 | |
| 30 | 火 | | 木 | 体力テスト終 | 日 | | 火 | | 金 | | 月 | 社会科見学(4) |
| 31 | | | 金 | | | | 水 | | 土 | | | |

| 月 | 10月 | | 11月 | | 12月 | | 1月 | | 2月 | | 3月 | |
|----|-----|--------|-----|------------|-----|---------|----|-------------|----|------------------------|----|-------------|
| 日 | 曜 | 行 事 | 曜 | 行 事 | 曜 | 行 事 | 曜 | 行 事 | 曜 | 行 事 | 曜 | 行 事 |
| 1 | 火 | | 金 | | 日 | | 水 | 元日 | 土 | 学校公開日(防災デー) 校内書初め展終 | 土 | |
| 2 | 水 | | 土 | 東京都教育の日 | 月 | 安全指導 | 木 | | 日 | | 日 | |
| 3 | 木 | | 日 | 文化の日 | 火 | | 金 | | 月 | 振替休業日 | 月 | 安全指導 |
| 4 | 金 | 避難訓練 | 月 | 振替休日 | 水 | | 土 | | 火 | 安全指導 | 火 | |
| 5 | 土 | | 火 | 安全指導 | 木 | | 日 | | 水 | | 水 | |
| 6 | 日 | | 水 | | 金 | | 月 | | 木 | | 木 | |
| 7 | 月 | | 木 | 生活科見学(1、2) | 土 | | 火 | 冬季休業日終 | 金 | | 金 | 災害体験者から学ぶ教室 |
| 8 | 火 | 安全指導 | 金 | | 日 | | 水 | 始業式 | 土 | | 土 | |
| 9 | 水 | | 土 | | 月 | 避難訓練 | 木 | 安全指導 給食始 | 日 | | 日 | |
| 10 | 木 | | 日 | | 火 | | 金 | | 月 | | 月 | |
| 11 | 金 | | 月 | | 水 | | 土 | | 火 | 建国記念の日 | 火 | 避難訓練 |
| 12 | 土 | | 火 | | 木 | | 日 | | 水 | | 水 | |
| 13 | 日 | | 水 | 避難訓練(二次避難) | 金 | 合同学習発表会 | 月 | 成人の日 | 木 | 避難訓練 | 木 | |
| 14 | 月 | スポーツの日 | 木 | | 土 | | 火 | | 金 | | 金 | |
| 15 | 火 | | 金 | | 日 | | 水 | 避難訓練 | 土 | | 土 | |
| 16 | 水 | | 土 | | 月 | | 木 | | 日 | | 日 | |
| 17 | 木 | | 日 | | 火 | | 金 | | 月 | | 月 | |
| 18 | 金 | | 月 | 水泳指導終 | 水 | | 土 | | 火 | | 火 | |
| 19 | 土 | 運動発表会 | 火 | | 木 | 買い物学習 | 日 | | 水 | | 水 | |
| 20 | 日 | | 水 | | 金 | | 月 | | 木 | | 木 | 春分の日 |
| 21 | 月 | 振替休業日 | 木 | | 土 | | 火 | 歩行学習 | 金 | 展覧会(児童鑑賞日) | 金 | 給食終 |
| 22 | 火 | | 金 | 研究発表会 | 日 | | 水 | | 土 | 展覧会(保護者鑑賞日) | 土 | |
| 23 | 水 | | 土 | 勤労感謝の日 | 月 | | 木 | | 日 | 天皇誕生日 | 日 | |
| 24 | 木 | | 日 | | 火 | 給食終 | 金 | 薬物乱用防止教室(5) | 月 | 振替休日 | 月 | 卒業式 |
| 25 | 金 | | 月 | 個人面談始 | 水 | 終業式 | 土 | ひのっ子作品展始 | 火 | 振替休業日 | 火 | 修了式 離任式 |
| 26 | 土 | | 火 | | 木 | 冬季休業日始 | 日 | ひのっ子作品展終 | 水 | | 水 | 春季休業日始 |
| 27 | 日 | | 水 | | 金 | | 月 | 校内書初め展始 | 木 | | 木 | |
| 28 | 月 | | 木 | | 土 | | 火 | | 金 | | 金 | |
| 29 | 火 | | 金 | 個人面談終 | 日 | | 水 | | | | 土 | |
| 30 | 水 | | 土 | | 月 | | 木 | | | | 日 | |
| 31 | 木 | | | | 火 | | 金 | | | | 月 | |